



卒業・進級おめでとう！

いよいよ三月です。この一年、たくさん本を読めましたか？心に残った本はありましたか？

あまり読めなかったなあ…と思ったら、今からでもいいので、あと一冊読んでみましょう。手元にある本でもいいし、やまなみ号や市立図書館に行って借りた本でもいいです。一冊手に取ってみてください。もしかしたら、夢中になれるステキな本に出会えるかもしれませんよ。

中学生は部活動などで忙しく、ゆっくり本を読む時間がとりにくいと思います。忙しいからこそ、いつも本を持参していて、移動の合間などのちょっとした時間に読めるといいですね。お気に入りの本が、いつもかばんの中にあるって素敵です！



返却忘れ、ありませんか？

3月26日から春休みになります。長い間、借りっ放しの本はありませんか？特に3年生は卒業までに返すのを忘れないようにしましょう。1・2年のみなさんも春休みまでには必ず返しましょう。

「借りたけど本が見つからない…」という人は、かばんの中、机やロッカーの中、教室の本だな、家の中などを、もう一度よく確認してください。もし、自分が本を借りているかどうか分からないという人は、図書室で聞いてみましょう。

☆春休みの期間は、本の貸し出しがありません。



借いたまま、返し忘れていた本はありませんか？

春休みまでに必ず返却しましょう。

一年間、図書室に来てくれてありがとう！

今回のおしらせ
●本の返却について
●人気の本紹介



本の紹介



2016年 人気の本！

今年一年を振り返り、名張市内の中学校で人気だった本を紹介します。気になる本があったら、ぜひ読んでみましょう！ちなみに、芥川賞受賞作『コンビニ人間』（作：村田 紗耶香 発行：文藝春秋）は、2/10 現在、市立図書館の予約件数が117件にもなっていて、話題性は抜群です。学校図書館にこの本がある中学校では、先生も借りて読んでいます。皆さんも学校図書館で借りれば、そんなに待たずに読めますよ。



『青鬼』シリーズ 著：黒田 研二 絵：鈴羅木 かりん 発行：PHP研究所

フリーゲームの「青鬼」を小説のような形態にしたものです。ニコニコ動画での実況で人気に火が付き、一躍有名ホラーゲームになりました。みんな一度は見たことあるのでは？いつどこで出てくるか分からない青鬼、捕まったら即ゲームオーバーのシビアさに思わず絶叫した人は多いはず。ゲームのように「ウワッ！」となる場面は少ないですが、執筆が「真かまいたちの夜」という名作ホラーゲームを作った黒田研二氏なので、原作とはまた違った面白さがあるのかも…。



『文豪ストレイドッグス』シリーズ 作：朝霧 卡カ 絵：春河 35 発行：KADOKAWA

「名前は知っているけど、作品は読んでいない」という名作ってありますよね。梶井基次郎の「檸檬」、田山花袋の「蒲団」、中原中也の「汚れつちまつた悲しみに」。これらの作品は、図書室の一角に並んでいる文学全集に収められています。この中に掲載されている作品たちが、突然色と輝きを取り戻しました。文豪たちと同じ名前の能力者と、文豪たちの作品と同じ名前の特殊能力。コミックスは11巻まで出ていますが、小説版も5冊出ています。ついでに、図書室の文学全集も読んでみませんか？比べてみるのもおもしろい！



『君の名は。』 著：新海 誠 発行：KADOKAWA

2016年一番話題になった映画の小説版。映画を見に行った人も多いと思います。さて、もし自分が男の子、あるいは女の子と入れ替わったらどうなるでしょうか？実は男女の入れ替わりという話は平安時代からあります。「とりかへばや物語」というお話で、こちらは魂ではなく立場が入れ替わります。男の子みたいな姫君と、女の子みたいな若君が、お互いの立場を入れ替えて生活しているうちに、ひと騒動起きるという内容です。

ちなみに、2016年の邦画ランキングは、1位が「君の名は。」で2位が「シン・ゴジラ」でしたが、1954年の邦画ランキングは1位が「君の名は（第3部）」で8位に「ゴジラ」がランクインしています。62年経って同じ題名の映画がそろってランクインするなんてなんだか不思議！

編集後記



いよいよ三月。みなさんは一年で何冊くらい本を読めたでしょうか？「世界一受けたい授業」などに出演している元NHKアナウンサーの鈴木健二さんは、読書についてこんなことを言っています。『読書は頭のためだけでなく、良い人間になるための作業である。読む努力が想像力を高め、他者を理解するのに大変役立つ。』つまり、本を読むことは、心をおだやかにし、考える力をつけ、友だちやまわりの人のことを正しく知ることにつながる、ということです。四月からたくさん本を読んで、考える力を身につけましょう。